

紀北分院整備基本計画の概要

基本方針

- 教育・研究・研修機能の充実
- 大学附属病院としての機能（特色）を保有
- 附属病院本院との機能分担
- 近隣の医療機関との連携、機能分担

主とする診療機能

プライマリケアの提供

- 総合診療
 - ・内科を中心としたチーム医療による総合診療を充実
 - ・患者の生活の質を視野に入れた医療と包括的なケア
 - ・救急医療

専門的医療の提供

- 緩和ケア
 - ・緩和ケア病棟を設置し、終末期の患者に対する疼痛管理やメンタルケアなどの包括ケア
- 脊椎・脊髄（スパイン）センター
 - ・複雑な脊椎障害に対し、整形外科、脳神経外科、リハビリテーション科、神経精神科等のチームによる質の高い脊椎・脊髄疾患の治療

教育・研究・研修機能

○総合診療医の養成

- ・学生、臨床研修医等に対する質の高いプライマリケア、ケアマインドの教育・研修
- ・チーム医療の教育・研修

○高野山大学との連携

- ・高野山大学と連携し、患者の精神面のケアを重視した緩和ケア研究

○総合診療、地域医療、緩和ケア、脊椎・脊髄疾患に関する研究

診療体制

診療科	機能		摘要
	外来	入院	
内科	●	●	スパインセンター
小児科	●	●	
脳神経外科	●	●	
整形外科	●	●	
眼科	●	●	
神経精神科	●	●	
リハビリテーション科	●		
スパインセンター	●	●	専門センター
緩和ケア科	●	●	

建築計画

建設地	和歌山県伊都郡かつらぎ町妙寺219（現地）
敷地面積	18,930.62㎡
延べ床面積	7,200㎡
階層	地上4階

病床数等

○病床数104床

（内訳）	一般病床	80床
	緩和ケア病床	20床
	第2種感染症病床	4床

※注1：開院当初は一般90床、緩和ケア10床で運用

※注2：現分院の稼働病床は146床

○研究・教育研修施設の充実

近隣医療機関との連携・機能分担

- 橋本市民病院、那賀病院、高野山病院との機能分担
- 地域の医療機関と診療連携の強化

事業計画

- ・19～20年度 基本設計・実施設計
- ・20～22年度 建設工事（現在地での建設）
- ・22年度中 新紀北分院の開院、既存建物の撤去
- ・概算事業費 約42億円
（建築・外構、解体、機器備品等）

紀北分院の主な施設の現況

- ・昭和13年 組合立紀北病院として開院（68年前）
- ・昭和30年 和歌山県指導厚生農業協同組合連合会紀北病院を和歌山県が買収し県立医科大学附属病院紀北分院として開院（51年前）
- ・昭和36年 第2病棟（南館）改築（45年前）
- ・昭和37年 診療本館（西本館）完成（44年前）
- ・昭和43年 第1病棟（北館）改築（38年前）
- ・昭和44年 診療本館（東本館）増築（37年前）